

岩沼市民バス運行業務評価報告書（概要）

1. 利用状況（平成31年4月～令和2年3月）

- 市民バス：149,781人（前年度より6,859人の増加）
年間の1便あたりの平均利用者数6.6人
- デマンド：西部区域 760人（前年度より195人の増加）
東部区域 1,211人（前年度より529人の増加）
- 復興路線：矢野目線 36人（前年度より6人の減少）
新浜線 536人（前年度より222人の増加）

2. 評価

【目標値】

指標の背景	評価指標	現状（H27年度）	目標値（R3年度）
高齢者にやさしく 利用しやすい バス交通	市民バスおよびデマンド交通の年間利用者数 【年間の1便あたりの 平均利用者数】	14.2万人 【6.5人】	16.0万人 【7.3人】

【見直しの評価基準】

- 各路線の見直し：年間の1便あたりの平均利用者数 4人/便
- 運行経費と運賃収入等の差額：年間約7,500万円
- バス全体の運行見直し：運行経費と運賃収入等の差額が過度に増加すると見込まれる場合

【評価・今後の改善等】

- 今回の運行体系見直し（2つの循環線と5つの支線への整理）については、利用状況から一定の定着が図られており、基本的な体系整備は理解されていることから、今後もこの運行体系を基本として、岩沼市にふさわしい公共交通体系の実現を目指します。（軽微な見直しによる効率的で利便性の高い路線の確保）
- 各路線については、「玉浦循環線」のみ評価基準を下回る結果となったことから、今後の利用状況を踏まえた改善等の検討に努めます。
- プロポーザルで提案のあった「ICカードの導入」や「利用啓発活動」「運賃以外の収入」等、提案事業者との連携により、利用促進に向けた取組に努めます。
- デマンドタクシーについては利用者が固定化されており、新規の利用があまりなかったため、周知活動として地区への説明会や利用啓発活動に努めます。
- 震災復興路線については矢野目線の利用が低いことから、地域との交流を図り、改善や検討に努めます。
- デマンドタクシーおよび震災復興路線の運行見直しについては、運行事業者との協議調整を行いながら、市民バスを含めた交通体系全体で検討します。（区域の拡大／運行時刻・ダイヤの変更 等）